

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名	イザナギ200SD粒剤
製品コード	IZSD
供給者の会社名称	科研製薬株式会社
住所	東京都文京区本駒込2丁目28番8号
電話番号	03-5977-5035
FAX 番号	03-5977-5136
緊急連絡先	03-5977-5035
メールアドレス	ag_rd@kaken.co.jp
推奨用途	農薬（除草剤）
使用上の制限	農薬登録以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
急性毒性：経皮	区分に該当しない
急性毒性：吸入（気体）	区分に該当しない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	分類できない
急性毒性：吸入（ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 短期（急性）	区分1
水生環境有害性 長期（慢性）	区分1
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

強い眼刺激
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 長期にわたる、又は、反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害
 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

取扱い後は手、顔、眼をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 使用前に取扱い説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物/容器を法令/条例に従って安全に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

一般名

トリアファモン・ベンゾビシクロン・ペントキサゾン粒剤

成分及び濃度（含有率）

(成分)	(化学名/化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
<成分①> トリアファモン	2'-[(4,6-ジメトキシ-1,3,5-トリアジン-2-イル)カルボニル]-1,1,6'-トリフルオロ-N-メチルメタンスルホンアニリド /C ₁₄ H ₁₃ F ₃ N ₄ O ₅ S	2.5 %	874195-61-6	—	
<成分②> ベンゾビシクロン	3-(2-クロロ-4-メシルベンジル)-2-フェニルチオピシクロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン /C ₂₂ H ₁₉ ClO ₄ S ₂	10.0 %	156963-66-5	7-(2)-168	—
<成分③> ペントキサゾン	3-(4-クロロ-5-シクロペンチルオキシ-2-フルオロフェニル)-5-イソプロピリデン-1,3-オキサゾリゾン-2,4-ジオン /C ₁₇ H ₁₇ ClFNO ₄	15.0 %	110956-75-7	8-(7)-1209	
<成分④> 鋳物質微粉、 界面活性剤等	—	72.5 %	—	—	—

<安衛法 表示・通知対象物質>

(成分)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
			(安衛法)	(化審法)
結晶質シリカ (成分④に含有)	2~4 %	14808-60-7	既存物質	(1)-548

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗う。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合、医師の診察/手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせない。直ちに医師の診察/手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、フッ素化合物、塩化水素等が含まれる。
特有の消火方法	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用し、風上から消火活動を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用し、眼や皮膚に付着しないようにする。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川・湖沼等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉末等が床面等にこぼれた場合は、直ちに掃き取り、密閉できる空容器に収納する。真空掃除機で吸い取るなど粉じんが飛散しない方法で取り除く。汚染した箇所を洗剤と水でよく洗浄し、洗浄水は全て密閉できる容器（廃棄物入れ）に回収する。（処分は「13. 廃棄上の注意」の項に従って行う。）

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。眼、皮膚、衣類に付着させないこと。
安全取扱注意事項	容器の破損や容器からの漏洩に注意すること。 みだりに粉じんを発生させない。
接触回避	情報なし
衛生対策	吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。 取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをすること。
保管	
安全な保管条件	適当な換気のある冷暗所に密閉し、施錠して保管する。
安全な容器包装材料	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	$E=3.0/(1.19Q+1)$
	E：管理濃度 (mg/m ³)
	Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)
許容濃度	日本産業衛生学会で未設定
設備対策	換気を適切に行う。取扱い場所の近くに眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク又は簡易防じんマスク
手の保護具	ゴム手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣 (長袖、長ズボン)、保護長靴
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	細粒固体
色	類白色
臭い	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
pH	10.1 (1%水溶液)
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
粒子特性	データなし
かさ密度	0.47 (見掛け比重)
10. 安定性及び反応性	
反応性	通常の見扱いは反応性なし。
化学的安定性	通常の見扱いは安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、フッ素化合物、塩化水素等が含まれる。
11. 有害性情報	
急性毒性 経口 LD ₅₀	>2,000 mg/kg (ラット) (区分に該当しない)
経皮 LD ₅₀	>2,000 mg/kg (ラット) (区分に該当しない)
吸入 LC ₅₀	データなし (分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	軽度の皮膚刺激性 (GHS分類基準以下の皮膚刺激性) (ウサギ) (区分に該当しない)

眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	中等度の眼刺激性（眼に対する刺激作用は投与後21日に全例で消失）（ウサギ）（区分2A）
呼吸器感作性	データ不足（分類できない）
皮膚感作性	陰性（モルモット）（区分に該当しない）
生殖細胞変異原性	区分2の成分を1%以上含有（区分2）
発がん性	区分1Aの結晶質シリカを0.1%以上含有（区分1A）
生殖毒性	区分2の成分を3.0%以上含有（区分2）
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	データなし（分類できない）
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）の成分を10%以上含有（区分1）
誤えん有害性	データなし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：	コイ	LC ₅₀ (96 hr)	917 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC ₅₀ (48 hr)	93.3 mg/L
藻類：	緑藻	ErC ₅₀ (0-72 hr)	0.0621 mg/L

残留性・分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

上記の結果から、水生環境有害性 短期（急性）を区分1、また急速分解性のデータがないことから、水生環境有害性 長期（慢性）を区分1とした。

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

空容器、空袋、汚染容器等 内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	UN 3077
品名（国連輸送名）	環境有害物質、固体、他に品名が明示されていないもの（トリアファモン、ベンゾピシクロン、ペントキサゾン混合物）
国連分類	クラス 9
容器等級	III
海上輸送	IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	IATA/ICAOの規定に従う。

海洋汚染物質 輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	該当 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、 落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。輸送容器には衝撃を与えないように丁寧に取扱う。転倒 させたり、激突させたりしない。
国内規制	
陸上輸送	規制されていない。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号：24613
化学物質排出把握管理促進 法	成分②：「3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-4-フェニルス ルファニルビシクロ [3.2.1] オクタ-3-エン-2-オン（別名 ベンゾビシクロン）」（2023年4月1日以降、第一種指定化学 物質 管理番号 621）10% 成分③：「3-(4-クロロ-5-シクロペンチルオキシ-2-フルオ ロフェニル)-5-イソプロピリデン-1,3-オキサゾリジン- 2,4-ジオン（別名ペントキサゾン）」（2023年4月1日以降、 第一種指定化学物質 管理番号 608）15%
労働安全衛生法	第57条及び第57条の2 表示・通知義務対象物質 結晶質シリカ 2 - 4%含有。
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない。
消防法	消防法危険物に該当しない。
化審法	第一種特定化学物質、第二種特定化学物質を含有しない。
船舶安全法	環境有害物質（固体）、等級9（有害性物質）、容器等級Ⅲ
航空法	環境有害物質（固体）、分類番号9（その他の有害物件）、容 器等級3

16. その他の情報

参考文献、資料等： —

記載内容の取扱い：

- ・ 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなす
ものではありません。
- ・ 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情
報が網羅されているわけではありません。
- ・ 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の手取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・
用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。